

平成 22 年度 秋期 IT ストラテジスト試験 解答例

午後 試験

問 1

出題趣旨	
<p>IT ストラテジストには、対象となる業務環境の調査・分析を行い、システム化計画を適切に策定する能力が求められる。</p> <p>本問では、卸売業者の物流センタ業務を題材に、物流センタの業務の改善とともに、顧客やメーカーの要望にこたえるためのシステム化計画を策定する能力を評価する。具体的には、物流センタの統合によって改善できる業務、業務委託の検討において委託先を決定した要因と委託業務の実施状況を評価する指標、顧客とメーカーの要望に対してシステムを活用して行うべきことについて問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	(1) 安全在庫を集約することで、在庫数量を削減できる。	
	(2) 製造ロット番号を活用し、ロット番号順に出荷する。	
設問 2	(1) 納品時刻を一定にできるから	
	(2) 誤納品の発生件数	
設問 3	(1) 商品の出荷日付、納入先、製造ロット番号、数量の情報を提供する。	
	(2) 注文を受けた時に商品の在庫状況を確認し、欠品の場合は連絡する。	

問 2

出題趣旨	
<p>IT ストラテジストには、営業戦略の変更に迅速に対応して、情報システムに求められる機能を特定し、システム化計画を通じて実現していく能力が求められる。</p> <p>本問では、営業戦略の変更に伴う生産関連システムの見直しを題材に、部品の供給方法の変更に伴って考慮すべき必要な情報や機能についての識別能力を評価する。具体的には、経営方針や顧客のねらいと現場の意見との乖離の内容、部品供給に関する提携の効果を実現するために必要な情報、生産関連のシステムに必要な機能について問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問 1	(1) 顧客の工場内に在庫する数量を多くすると、D 社の在庫の削減にはならない。	
	(2) エンジン単価を高く設定すると、顧客にとって調達費の低減にならない。	
設問 2	(1) モデルチェンジの予定情報や新製品の開発情報	
	(2) 顧客の生産計画が確定した時点の、D 社製品の日別出庫数の情報	
設問 3	製品倉庫の入出庫管理システムの在庫数の情報を取り込む機能	

問3

出題趣旨	
<p>ITストラテジストには、革新的製品・サービス開発を企画・推進又は支援する業務に従事しうる能力が求められている。この能力は、情報技術を活用した新製品・サービスが注目される状況下で、重要性を増している。</p> <p>本問では、電鉄会社の情報システム子会社における、新規事業としてのASP事業の事業計画策定を題材とし、革新的製品・サービス開発の企画策定に関する実践的能力を評価する。具体的には、新規事業の営業方法や価格設定、付加すべき機能などの検討について問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	(1) 既に保有している従業員データを利用できる。	
	(2) 地域の法人の会や給与計算受託先などのチャネルを活用して販売を促進する。	
設問2	(1) 勤怠管理業務のコスト削減効果より安い料金	
	(2) サービス対象従業員数	
設問3	(1) 勤怠管理システムと連携した出退勤時刻未入力者への問合せ機能	
	(2) 安否確認ができる機能	

問4

出題趣旨	
<p>ITストラテジストには、社会的要請や関連技術動向などを分析し、競争力のある製品を企画・提案する能力が求められる。</p> <p>本問では、次世代の高機能型電力メータであるスマートメータと蓄電機能を付加した太陽光発電システムを題材に、社会的要請や自社の保有技術を整理し、新たな製品を企画・提案する能力を評価する。具体的には、機能の整理、事業展開に関する課題の把握、他社との技術提携の検討について問う。</p>	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	(1) (a) ・経済的な電力売買のスケジューリング ・外出先からの家庭用電化製品の監視制御	
	(1) (b) ・通信手順の更新を可能とすること ・複数の通信手順に対応可能とすること	
	(2) ・太陽光発電装置の発電出力情報 ・家庭用電化製品の電力使用情報	
設問2	・通信手順の標準規格化を踏まえた開発 ・多様なニーズに対する適応能力	
設問3	電池メーカーの製品戦略を太陽光発電システムの設計に生かすことができる。	